



2020年3月10日

各位

上場会社名 興 研 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 村 川 勉
(コード番号 7963 JASDAQ)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 担 当 井 端 秀 明
(TEL 03-5276-1911)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響について

この度の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大に伴う当社グループの生産状況等及び業績への影響について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 生産状況等

当社グループでは、日本の医療機関を守るためこの分野に優先的に使い捨て式防じんマスク（DS2：国家検定規格、N95：米国NIOSH規格）の供給を行っております。当該マスクの生産状況等は以下の通りです。

①生産の現況

現在、以下の製造拠点にて増員及び三交代勤務によるフル生産を継続しております。（生産数は非開示）

【中井テクノヤード：神奈川県中井町】

通常時の2.3倍の生産を行っております。

【SIAM KOKEN LTD.：タイ国チョンブリ県】

通常時の1.7倍の生産を行っております。

マスク価格の高騰措置を目的としたタイ商務省国内貿易局のマスク国外輸出規制により、3週間程度、日本への輸出許可が停止されましたが、現在は解除されています。（2月20日、2月27日に開示済み）

なお、SIAM KOKEN LTD.で製造した当該マスクの同省同局衛生マスク管理センターへの一部販売を求められており、現在その数量等について協議中です。

②製品材料、部品調達の状況

当該マスクの材料、部品は、ほぼ国内産のため調達に遅れは生じておりません。

なお、その他製品の部品の中には、一部中国産も含まれているため、中国での感染症の長期化の影響を見込み、既に国内産にシフトする準備を進めております。

③国内での販売見通し

第1四半期累計期間（2020年1～3月）における当該マスクの国内販売量は、昨年の約1.8倍となる見通しです。（販売数は非開示）

2. 業績への影響

- ・2020年12月期 第1四半期連結業績（2020年1～3月）に与える影響

当該マスクの需要大幅増を主因に、前年同四半期実績に対し全体では20%弱の増収が見込まれます。

- ・2020年12月期 第2四半期以降の影響

新型コロナウイルス感染症の動静見通し、終息時期を予想することは難しく、また一方で世界経済の混乱や国内景気の後退が当社グループの業績へマイナスの影響を及ぼす懸念もあります。現時点におきましては、2020年12月期第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想の修正は行いません。

今後の動向を見極め、業績修正の必要が明確になり次第、適時速やかに開示いたします。

以上